

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月22日	作成者名	安部 孝良	評価者名	石橋 功吏
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	08 着実な総合振興計画の実行に向けて	中心となる課	企画財政部・共創企画課
分野	02 PDCAを活用した行政経営	関係課	市長公室・市長公室
施策	82 経営体制の確立		
施策の目的	首長のリーダーシップに基づき、市政の目指すべき方向を明確に定め、市民の意見を適切に反映しながら、行政計画に基づいた政策・事業の展開を着実に進めます。 また、市政課題の解決に向け科学的な分析に基づく政策形成を行うとともに、行政内部の政策形成力の向上を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	総合振興計画推進事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
研究所提言の施策・事業化率	施策・事業化された提言数÷提言数 (予定通り以上)	%	50	50	50	50	50	50	50
戸田市第4次総合振興計画における施策の進捗状況	計画どおりに進捗している施策数÷総施策数	%	100	91	91	91	90	88.9	
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	既存の実施計画を着実に遂行していくほか、首長のリーダーシップに基づき、市が直面している様々な課題やそれらに対する新たな取り組みを、実施計画に組み込みながらスピード感をもって進めて行くことが求められている。 また、本市の目指す将来都市像を実現するため、長期的な視点に基づき事業が適切に運営される仕組みを構築することが求められている。 さらに、戸田市政策研究所の設置から年月が経過し、その調査研究が、変化する環境に対応が難しく、その後の事業化へ繋がりにくくなっている。	対応策	第5次総合振興計画策定に向けては、部局のマネジメントをより分かりやすく示し、施策体系の見直しを図った。 また、将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」を定め、その実現に向け、事業の適切な進捗管理に取り組んでいく。 さらに、令和3年度の組織改正に伴い戸田市政策研究所を閉所することとし、職員の政策形成能力向上に係る一部事務を共創企画課へ引継ぎ、経営トップ層の政策的な意思決定をより効果的に支援していく。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	第4次総合振興計画後期基本計画の進捗状況としては、目標達成に至らなかった施策もあり、それらの原因分析等を行うことで、第5次計画に活用していく。 また、組織改正に伴い政策研究所を閉所した。今後、公民連携等を活用し、政策形成力の向上を目指す。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	第5次総合振興計画の策定が終了し、今後は同計画の内容に合わせた進捗管理の手法等を再検討する。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、新たな政策的課題や庁内横断的な取り組みを推進していく必要がある。
→		

(評価者コメント)

第4次総合振興計画の進捗管理については、後期基本計画策定の際に見直した各指標の達成に向け、計画最終年度も着実に実施できたと思われる。 また、第5次総合振興計画における実施計画策定や行政評価による進捗管理等についても、時宜に見合った本市に適切な手法を検討しつつ、第4次から第5次へとスムーズな移行を図っていく必要がある。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月22日	作成者名	安部 孝良	評価者名	石橋 功吏
-----	-------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 4 予 算 額	事業費 うち 一般財源			
		事業コード		R2決算額	事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度	コメント					
							R3予算額	施策への貢献度	経費水準	事業手法							受益・負担の公平性		
		事業内容		R4計画額	事業の方向性	実施計画候補		施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性	事業の方向性	実施計画候補				施策内優先度		
xx				地方分権事業 (共創企画課)															
	00	地方分権事業		0												0			
		01	xx xx xx xx 00	0	1		B	B	B	B	1		義			0			
		市民サービスの向上につながる事務について、庁内に働き		0															
				1,385															
計 (千円)																			
				事業費												28,341	28,265	27,128	0
				うち一般財源												28,341	28,262	27,124	0

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和4年度で終了 8 令和3年度で終了 9 令和2年度で終了